

二次防水工法「メースハイプルーフ工法」リニューアル

アイカテック建材株式会社（代表取締役社長：倉本寛直 本社：東京都練馬区豊玉北 6 丁目 5 番 15 号アイカ東京ビル 2 階 資本金：4 億 5,000 万円）は、メース専用二次防水工法「メースハイプルーフ工法」を施工省力化、取付金物の高耐力化に対応したリニューアルを行いました。

●縦張り リニューアル箇所

旧仕様

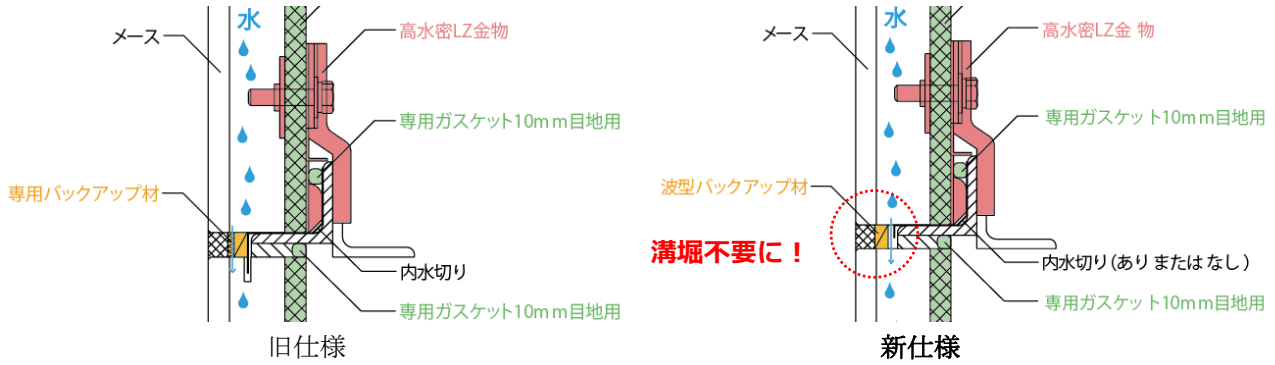
工法種類	対応クリップ	ナットの止水パッキン 必要性	バックアップ材	ガスケット	溝掘り 加工	内水切
ハイプルーフ3000 (最大水密3000Pa仕様)	LZ金物	なし	波型バックアップ材	専用ガスケット	なし	あり or なし (アングル継ぎ目/コーナー/他部材取り 合い部はピース水切りを使用)
	Wクリップ					
ハイプルーフ5000 (最大水密5000Pa仕様)	高水密LZ金物	あり	専用バックアップ材	専用ガスケット	あり	

新仕様

工法種類	対応クリップ	ナットの止水パッキン 必要性	バックアップ材	ガスケット	溝掘り 加工	内水切
ハイプルーフ3000 (最大水密3000Pa仕様)	LZ金物	なし	波型バックアップ材	専用ガスケット	なし	あり or なし (アングル継ぎ目/コーナー/他部材取り 合い部はピース水切りを使用)
	Wクリップ					
	LZPlus					
ハイプルーフ5000 (最大水密5000Pa仕様)	高水密LZ金物	あり	波型バックアップ材	専用ガスケット	なし	あり or なし (アングル継ぎ目/コーナー/他部材取り 合い部はピース水切りを使用)
	LZPlus					

- 従来金物（LZ 金物）と比べ約 120%耐力が向上した高耐力金物「LZPlus」が使用可能になりました。設計風圧の大きくなる高層のご計画において、これまでよりも更にお使いいただきやすくなりました。
- ハイプルーフ 5000 では「専用バックアップ材」から「波型バックアップ材」に変更することで、ハイプルーフ 3000 と同一の部材を使用できるようになり、わかりやすく明瞭化しました。

- ③ ハイプルーフ 5000 においても、ハイプルーフ 3000 同様にパネルジョイント部の溝掘加工が不要になり、施工省力化に貢献できるようになりました。



●横張り リニューアル箇所

旧仕様

工法種類	対応クリップ	ナットの止水パッキン 必要性	バックアップ材	ガスケット	溝掘り 加工	内水切
ハイプルーフ3000 (最大水密3000Pa仕様)	高水密LZ金物	あり	波型バックアップ材	専用ガスケット	-	-
ハイプルーフ5000 (最大水密5000Pa仕様)	高水密LZ金物	あり	専用バックアップ材	専用ガスケット	-	-



新仕様

工法種類	対応クリップ	ナットの止水パッキン 必要性	バックアップ材	ガスケット	溝掘り 加工	内水切
ハイプルーフ3000 (最大水密3000Pa仕様)	LZ金物	なし	波型バックアップ材	専用ガスケット	-	-
	Wクリップ					
	LZPlus					
ハイプルーフ5000 (最大水密5000Pa仕様)	高水密LZ金物	あり	波型バックアップ材	専用ガスケット	-	-
	LZPlus					

- 従来金物 (LZ 金物) と比べ約 120% 耐力が向上した高耐力金物「LZPlus」が使用可能になりました。設計風圧の大きくなる高層のご計画において、これまでよりも更にお使いいただきやすくなりました。
- ハイプルーフ 5000 では「専用バックアップ材」から「波型バックアップ材」に変更することで、ハイプルーフ 3000 と同一の部材を使用できるようになり、わかりやすく明瞭化しました。
- ハイプルーフ 3000 は、これまでは取付金物ナットに止水パッキンが必要であったため、使用できる取付金物が限られていましたが、止水パッキンが不要になることで使用可能な取付金物の種類が増え、これまでよりもお使いいただきやすくなりました。

押出成形セメント板メースを使用するご計画の際は、是非ご検討ください。

不明点や詳細につきましては、弊社営業店所へお問い合わせください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

アイカテック建材株式会社 営業統括部

東京都練馬区豊玉北 6 丁目 5 番 15 号 アイカ東京ビル 2 階

TEL.03-5912-0742 FAX.03-5912-0750

ホームページ <https://www.aica-tech.co.jp/>

以上